News Release

本ニュースリリースは、11 月 18 日・14 時 00 分に、
厚生労働記者会・労政記者クラブ
東商記者クラブに配布しております。

JMA 一般社団法人日本能率協会

2016 年 11 月 18 日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会

ビジネスパーソンの“今”をデータで読み解く

## 第 7 回「ビジネスパーソン 1000 人調査」【仕事と感謝編】

# 仕事のやりがい・成果の影には「感謝の言葉」の有無が影響

## ～勤労感謝の日（11月23日）を前に、あらためて“感謝”の重要さが明らかに～

- **感謝の対象は、1位「同僚・先輩・後輩」、2位「家族」、3位「上司」と、身近なところに**
- **「誰からも感謝されていない」と思う人は全体の4割で、40代では半数近くに達する**
- **仕事のやりがいを感じている人、職場がビジネスで十分な成果を上げていると思う人は、感謝の気持ちを伝えることに積極的**
- **言われて最も嬉しい言葉は、男女とも「ありがとう」がダブルスコアで1位、次点は男性「おつかれさま」、女性「よくやった」**

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2013年より全国のビジネスパーソン1000人に対し、職場や仕事に対する考えについて意識調査を行っています。この調査は、働く人びとに焦点を当て、その時々の旬の話題をデータで紹介するシリーズです。

今回は「勤労感謝の日（11月23日）」を前に、「仕事と感謝」についてご紹介します。

## 調査概要

| | |
|---|---|
| 調査名称 | 第7回ビジネスパーソン1000人調査 【仕事と感謝編】 |
| 調査期間 | 2016年7月26日（火）～2016年8月1日（月） 7日間 |
| 調査対象 | (株)日本能率協会総合研究所「JMAR リサーチモニター」のうち全国の 20 歳～69 歳までの正規・非正規雇用の就業者（企業や団体で働く正社員、役員、経営者、契約・嘱託社員、派遣社員。ただしパート・アルバイト、医師・弁護士などの専門職業、自由業を除く） |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| 回答数 | 1,000 人 |
| 属 性 | 性別：男性 556 人、女性 444 人<br>年代：20 代 159 人、30 代 245 人、40 代 249 人、50 代 202 人、60 代 145 人<br>雇用形態：正規 640 人、非正規 360 人 |

※回答は%表記とし、小数点第 2 位を四捨五入

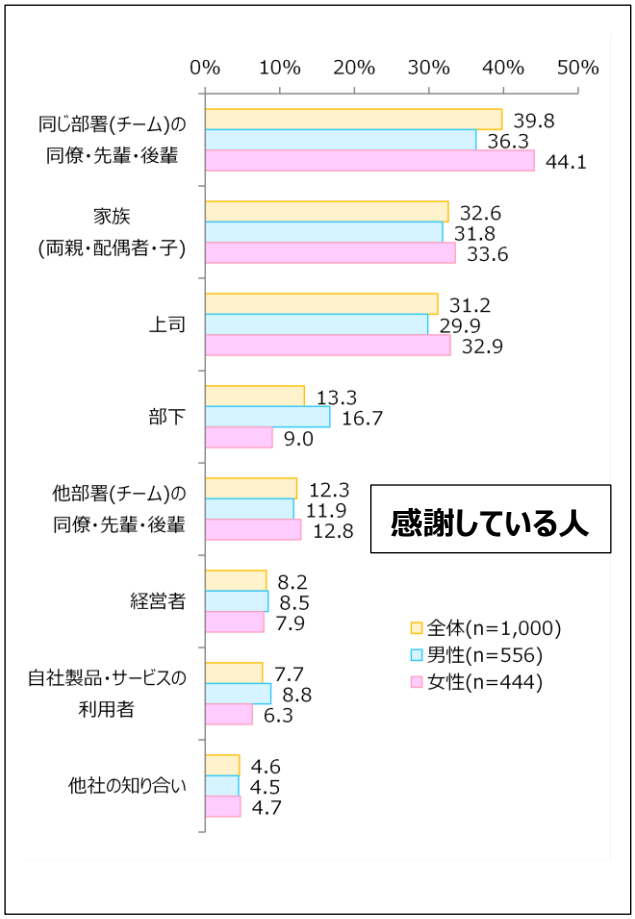
**※結果の詳細は次ページ以降をご覧ください。**

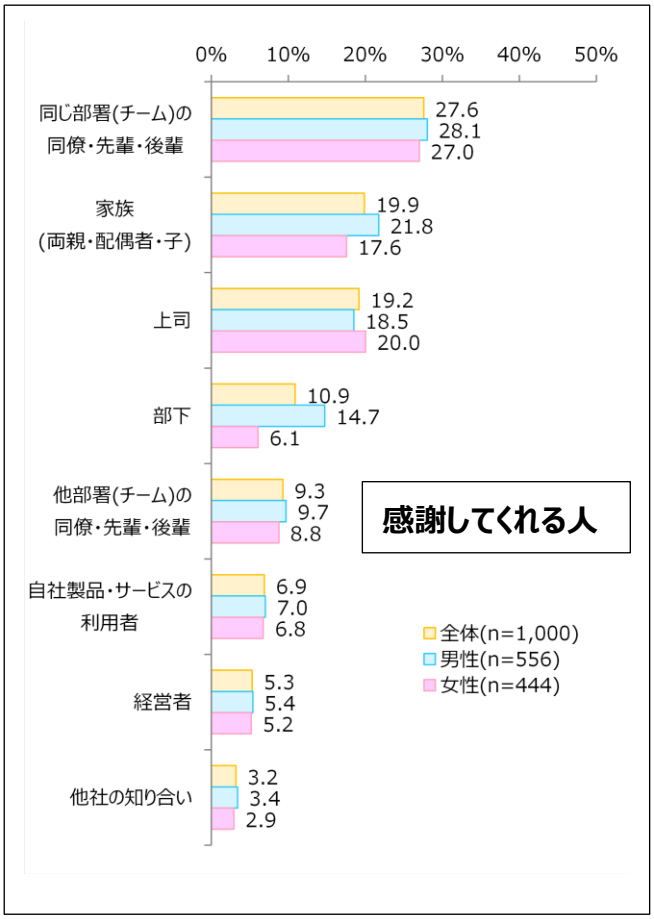
【本件に関するお問い合せ】
一般社団法人日本能率協会 KAIKA センター JMA 広報室（担当：斎藤）
TEL：03-3434-8620／FAX：03-3433-0269／Email：jmapr@jma.or.jp
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14 階

## 調査結果

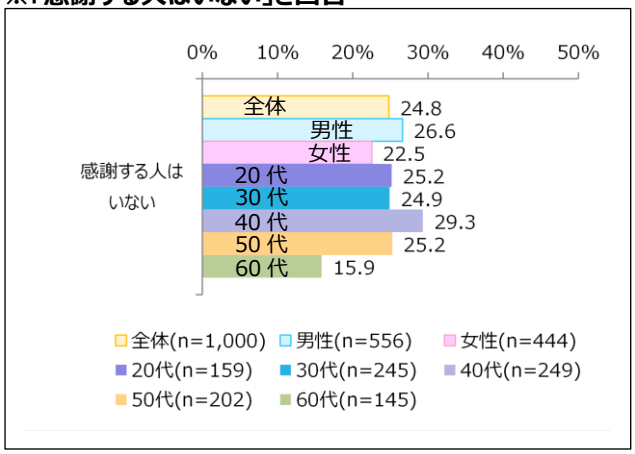
**1．仕事上で感謝している人／感謝してくれる人は、ともに１位「同じ部署（チーム）の同僚・先輩・後輩」、2 位「家族」、3 位「上司」。一方、「誰からも感謝されていない」と感じている人は全体の 4 割で、40 代では半数近くを占める。**

**図表 1 仕事上で感謝している人／感謝してくれる人（複数回答）**

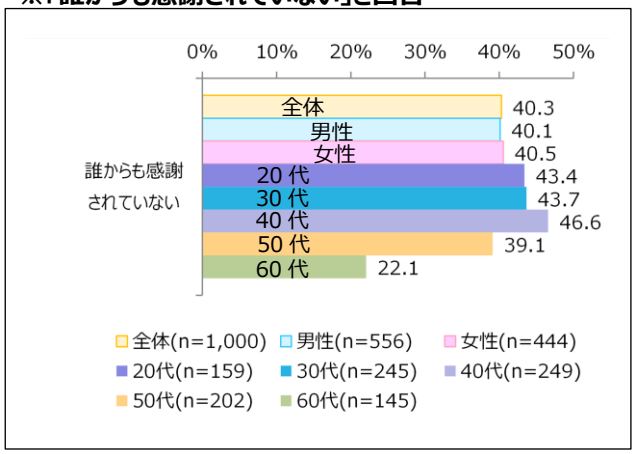



**※「感謝する人はいない」と回答**



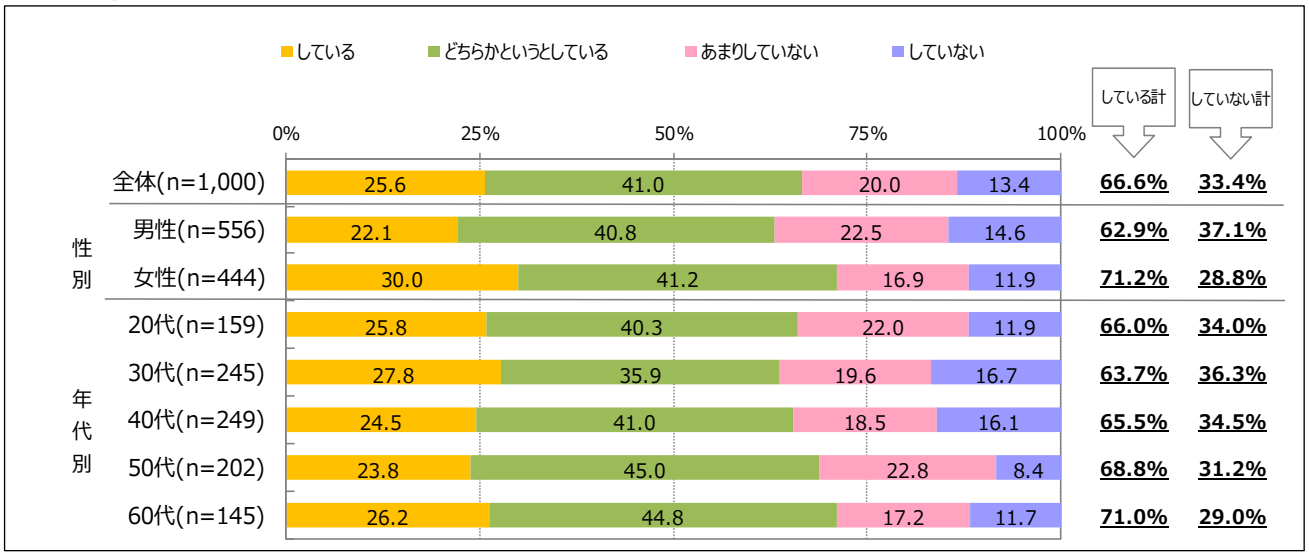

**※「誰からも感謝されていない」と回答**




・仕事上で感謝している人を聞いたところ、1 位「同じ部署（チーム）の同僚・先輩・後輩」（39.8%）、2 位「家族」（32.6%）、3 位「上司」（31.2%）となりました。
・仕事上で感謝してくれる人を聞いたところ、1 位「同じ部署（チーム）の同僚・先輩・後輩」（27.6%）、2 位「家族」（19.9%）、3 位「上司」（19.2%）となりました。
・一方、「感謝する人はいない」と回答した人は 24.8%、「誰からも感謝されていない」と回答した人は、40.3%にのぼりました。年代別でみると、40 代では 46.6%と半数近くにのぼっています。

## 2. 仕事上で感謝の気持ちを伝えるようにしている人は 7 割弱、女性では 7 割超に。

**図表 2　仕事で感謝の気持ちを伝えるようにしているか（単一回答）**




・仕事上で感謝の気持ちを伝えるようにしているか聞いたところ、「している」（25.6%）、「どちらかというとしている」（41.0%）と、意識している人は 7 割弱にのぼりました。

・性別でみると、男性は「意識している」（「している」「どちらかというとしている」の計）が 62.9%、女性では 71.2%となり、女性の方が意識的に感謝の気持ちを伝えるようにしていることがうかがえます。

## 3. 感謝の気持ちを伝えるシーンは、「自分の仕事を手伝ってもらったとき」や「ミスをフォローしてもらったとき」に、「直接会って話す」。

**図表 3　感謝の気持ちを伝えるタイミング（複数回答）**

※感謝の気持ち伝えるように「している」「どちらかというとしている」「あまりしていない」の 866 人が回答

**全体(n=866)**

| | RANK | (%) |
|---|---|---|
| 自分の仕事を手伝ってもらったとき | 1 | 43.6 |
| ミスをフォローしてもらったとき | 2 | 38.9 |
| 仕事の相談にのってもらったとき | 3 | 26.8 |
| ミスや失敗を指摘・指導してもらったとき | 4 | 24.7 |
| 仕事のアイデアやヒントをもらったとき | 5 | 21.2 |
| 仕事の目標を達成できたとき | 6 | 20.2 |
| 元気がないときに励ましてもらったとき | 7 | 18.2 |
| 公正に評価してもらったとき | 8 | 17.8 |

**男性(n=475)**

| | RANK | (%) |
|---|---|---|
| 自分の仕事を手伝ってもらったとき | 1 | 38.9 |
| ミスをフォローしてもらったとき | 2 | 33.7 |
| 仕事の目標を達成できたとき | 3 | 23.8 |
| 仕事の相談にのってもらったとき | 4 | 23.2 |
| 仕事のアイデアやヒントをもらったとき | 5 | 21.9 |
| ミスや失敗を指摘・指導してもらったとき | 6 | 21.1 |
| 期待以上の働きをしてもらったとき | 7 | 20.4 |
| 公正に評価してもらったとき | 8 | 17.7 |

**女性(n=391)**

| | RANK | (%) |
|---|---|---|
| 自分の仕事を手伝ってもらったとき | 1 | 49.4 |
| ミスをフォローしてもらったとき | 2 | 45.3 |
| 仕事の相談にのってもらったとき | 3 | 31.2 |
| ミスや失敗を指摘・指導してもらったとき | 4 | 29.2 |
| 元気がないときに励ましてもらったとき | 5 | 22.5 |
| 仕事のアイデアやヒントをもらったとき | 6 | 20.5 |
| 公正に評価してもらったとき | 7 | 17.9 |
| 仕事の目標を達成できたとき | 8 | 15.9 |

・ 感謝の気持ちを伝えるタイミングは、1 位「自分の仕事を手伝ってもらったとき」（男性 38.9%、女性 49.4%）、2 位「ミスをフォローしてもらったとき」（男性 33.7%、女性 45.3%）でした。3 位は男女で異なっており、男性は「仕事の目標を達成できたとき」（23.8%）、女性は「仕事の相談にのってもらったとき」（31.2%）となりました。

・感謝の気持ちの伝え方では、「直接会って話す」が 83.7%となり、「E-mail」（14.5%）、「電話」（14.1%）を押さえ圧倒的でした。

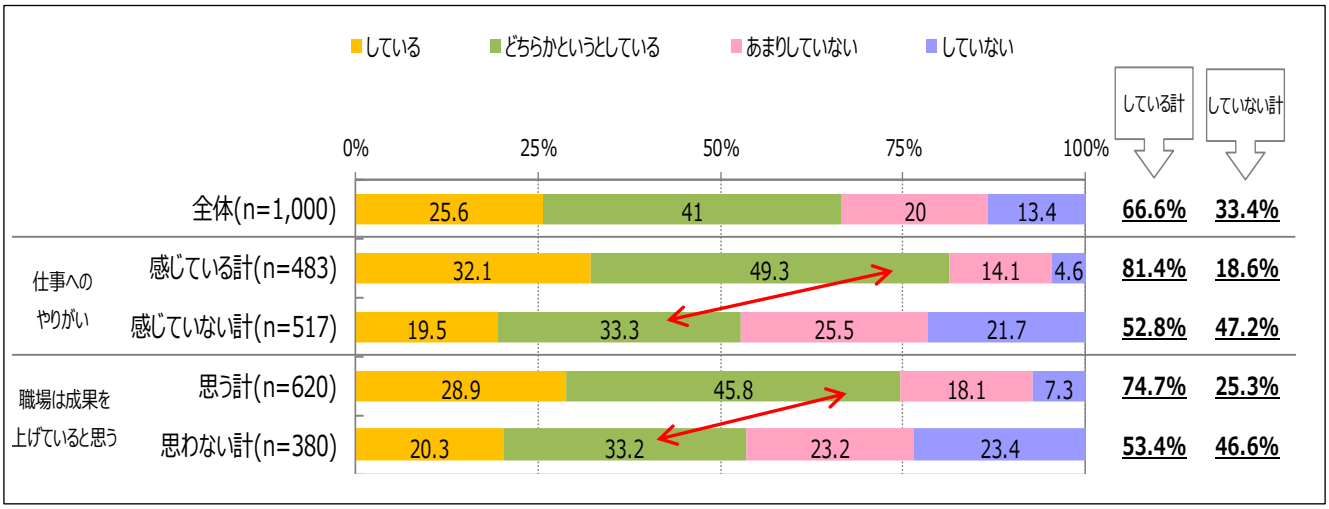
**図表 4　感謝の気持ちの伝え方（複数回答）**

全体(n=866)

| | RANK | (%) |
|---|---|---|
| 直接会って話す | 1 | 83.7 |
| E-mailで伝える | 2 | 14.5 |
| 電話で話す | 3 | 14.1 |
| プレゼントを贈る | 4 | 8.0 |
| 手紙やメッセージカードで伝える | 5 | 5.4 |
| SNSを通じて伝える | 6 | 5.0 |
| その他 | 7 | 1.5 |

## 4. 仕事のやりがいを感じている人の８割超、職場がビジネスで十分な成果を上げていると思う人の７割超が、感謝の気持ちを伝えることに積極的。仕事のやりがい・成果の背景に「感謝の言葉」。

**図表 5　感謝の気持ちを伝えるようにしているか（単一回答）（仕事のやりがい／職場の成果実感別）**




・仕事のやりがいを感じている人（483 人）と感じていない人（517 人）を比較したところ、やりがいを感じている人の 81.4%が感謝の気持ちを伝えるようにしていると回答。感じていない人では 52.8%にとどまっており、28.6 ポイントの差がありました。

・また、自身の職場がビジネスで成果を上げていると思う人（620 人）と上げていると思わない人（380 人）を比較したところ、上げていると思う人の 74.7%が感謝の気持ちを伝えるようにしているのに対し、上げていると思わない人では 53.4%となり、21.3 ポイントの差がありました。

## 5. 仕事上言われて最も嬉しい言葉、男女とも「ありがとう」がダブルスコアで 1 位。次点は男性「おつかれさま」、女性「よくやった」「あなたにしかできない」

**図表６　仕事上言われて最も嬉しい言葉（単一回答）TOP5**

男性（n=556）

| | | |
|---|---|---|
| **1 位** | **ありがとう (感謝の言葉)** | **34.0%** |
| 2 位 | おつかれさま (労いの言葉) | 16.4% |
| 3 位 | あなたにしかできない (能力についての褒め言葉) | 13.3% |
| 4 位 | よくやった (結果についての褒め言葉) | 12.9% |
| 5 位 | やる気だね (仕事への姿勢についての褒め言葉) | 3.4% |

女性（n=444）

| | | |
|---|---|---|
| **1 位** | **ありがとう (感謝の言葉)** | **43.2%** |
| 2 位 | よくやった (結果についての褒め言葉) | 15.1% |
| 3 位 | あなたにしかできない (能力についての褒め言葉) | 14.4% |
| 4 位 | おつかれさま (労いの言葉) | 8.8% |
| 5 位 | 素敵だね (外見についての褒め言葉) | 2.5% |

・仕事上、言われて嬉しい言葉を聞いたところ、1 位は「ありがとう」（男性 34.0%、女性 43.2%）、次いで男性「おつかれさま」（16.4%）、女性「よくやった」（15.1%）でした。

## まとめ

今回の調査では、ビジネスパーソンがどのような時に誰に感謝しているのか、感謝の言葉は職場にどのような効果をもたらし得るのか探りました。

結果から、感謝の対象は同僚・先輩・後輩や上司、家族といった日常接する人たちが大半でしたが、感謝する人がいない、誰からも感謝されていないと回答した人も、それぞれ約 25%、約 40%にのぼっています。

一方、仕事のやりがい・職場での仕事の成果との関係をみると、やりがいや成果を感じている人は、感謝の気持ちを伝えることに積極的であることがわかりました。

誰でも、自分の仕事を手伝ってもらったり、ミスをフォローしてもらったりすることはあるはずです。そんなとき、まずは自ら率先して「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることで、同僚・上司といった職場での身近な人間関係を良好に保ち、互いのモチベーションアップ、ひいては職場全体の成果向上につながっていくことが期待されます。

以上